新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用して実施した事業の実績及び効果について

資料２

１　趣旨

国の新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用して、本市が実施した事業の実績及び効果について報告するものである。

２　実施状況の公表及び効果の検証

国の事務連絡等において、次のとおり示されている。

(1) 外部有識者を含む検証機関を設置し、KPIの達成度について効果検証を行うこと。

(2) 効果検証の結果については、事業の改善やその後の地方版総合戦略の改訂の検討に反映するとともに、地方公共団体のウェブサイトにおいて公表すること。

３　実施状況

各事業の検証結果は資料２－１のとおり。

交付金区分		事業実施年度	件数（件）	事業費（円）（交付額（円））
新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）	ソフト事業	令和７年度（№１～３）	3	26,646,510（13,323,198）
	拠点整備事業	令和６年度（№４）	1	385,251,131（191,159,700）
	インフラ整備事業	令和７年度（№５）	1	67,137,390（33,568,695）
新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）	TYPE１	令和５年度（№６～８）	3	56,127,175（28,063,587）
		令和６年度（№９～10）	2	21,839,216（10,919,146）
		令和７年度（№11～12）	2	24,652,779（12,326,389）

４　総括

令和７年度は、AI･IoTを活用した産業の高度化・高付加価値化や、スタートアップ支援、東北地域一体となった交流人口の拡大など、多岐にわたる事業を展開した。各事業の効果検証では、第２世代交付金（拠点整備事業）において、道の駅もりおか渋民のフューチャーセンターで取り組むプロジェクト数が目標値を上回るなど、KPIを達成した項目がある一方で、一部未達成となった項目も見られた。今後も効果検証結果を踏まえ、未達成となったKPIの要因分析と改善を図りながら、交付金を有効に活用し、本市の地域課題の解決と地方創生の取組を一層深化させていくこととする。

５　今後のスケジュール

10月20日　盛岡市総合計画審議会

11月下旬　市公式ホームページで公表